



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「鯛の年間消費量」と「[ななつ星 in 九州]」の抽選倍率」です。



鯛の年間消費量

検索



「ななつ星 in 九州」の抽選倍率

検索

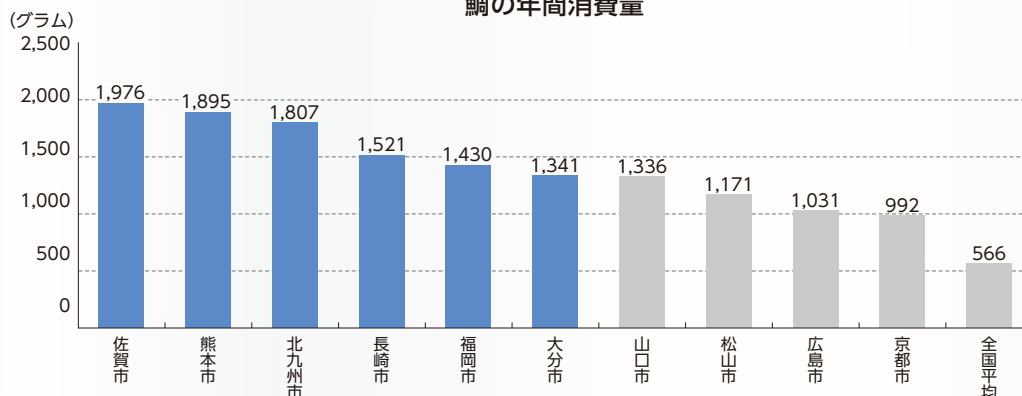


鯛の年間消費量

2月から4月にかけて旬を迎える鯛。これからの季節、卒業、入学、就職等様々なお祝いの席で鯛を食べる機会も増えてくるのではないのでしょうか。

その鯛の年間消費量を県庁所在地・政令指定都市別に見てみると、佐賀市や熊本市、北九州市を筆頭に、天然鯛の主要漁場（東シナ海や瀬戸内海）に近く、新鮮な鯛を入手しやすい西日本の各市が上位を占めています。その中でも佐賀県では、「鯛女房（鶴の恩返しの鯛バージョンのようなもの）」という民話が伝承されているほか、鯛が唐津市の伝統的なお祭りである「唐津くんち」の代表的な曳山の一つとしても奉納されるなど、他県以上に古くから鯛に親しむ文化が根付いており、そのことも鯛の消費量の多さにつながっていると考えられます。

鯛の年間消費量



(出所:総務省「家計調査(二人以上の世帯)」をもとにふくおかフィナンシャルグループが作成)
(※)消費量は2012年から2014年までの3年間の平均値

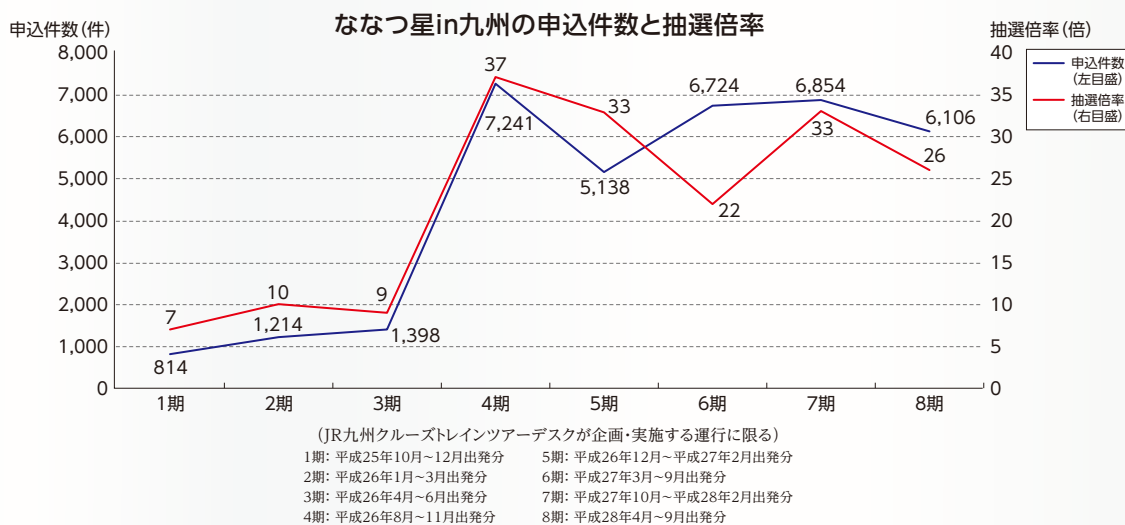


「ななつ星in九州」の抽選倍率

「ななつ星in九州」(※1)の抽選倍率を募集期毎に見てみると、第4期に20%程度の値上げを行ったにもかかわらず、37倍にまで跳ね上がっています。その要因は、第4期の募集開始が第1期の運行開始後であり、多くのメディア等に取り上げられ、「ななつ星in九州」の魅力、そして鉄道が単なる移動手段ではなく、旅の目的そのものになることが、より広く認知されたことが挙げられます。

国内でのクルーズトレイン(※2)という新たな市場を開拓した「ななつ星in九州」は、九州の魅力を国内外に発信する、九州の観光産業の牽引役としての役割も果たしています。

(※1…平成25年10月からJR九州が運行を開始した日本初のクルーズトレイン。贅と美をほどこしたつくりや、クルーによる最高のおもてなし、九州の食材をふんだんに使用した料理を味わえる豪華寝台列車として、国内外で高い人気を誇っている。)
(※2…クルーズ船のように豪華で贅沢な旅を提供する鉄道)



(出所:九州旅客鉄道株式会社のニュースリリースをもとにふくおかフィナンシャルグループが作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きに減速の兆しがみられる

福岡県の景気は、持ち直しの動きに減速の兆しがみられます。

生産は、四輪自動車等が増産となった輸送機械や、トランジスタ等の生産が増加した電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きがみられます。個人消費は、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

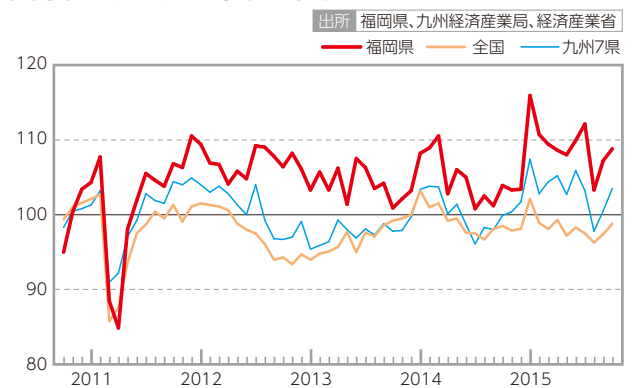
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は108.8と前月比1.5%上昇しました。

主要業種では、四輪自動車等が増産となった輸送機械や、トランジスタ等の生産が増加した電子部品・デバイスが上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

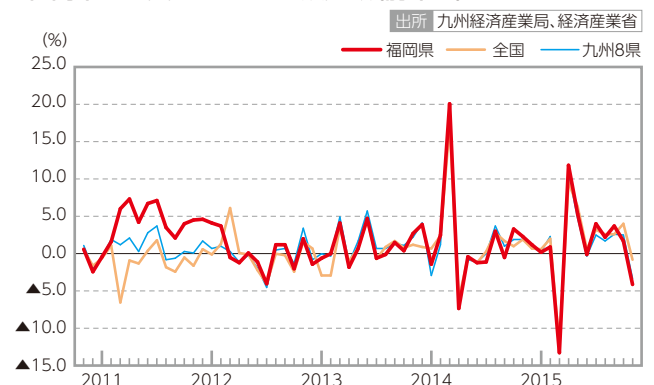


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

11月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.1%減の557億円となりました。

化粧品や宝飾品などの高額品は前年を上回ったものの、例年に比べて気温が高めに推移したことから冬物衣料の動きが鈍く、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





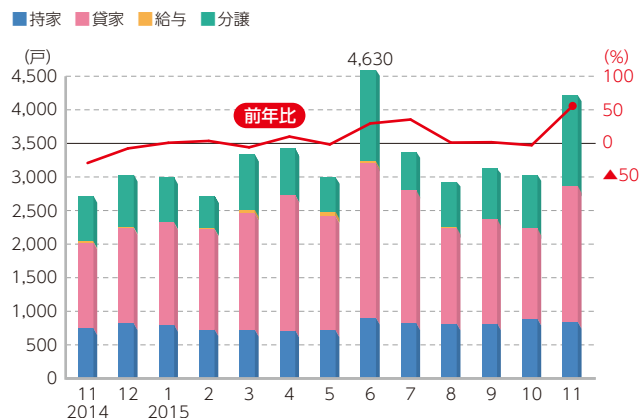
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比55.2%増の4,254戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



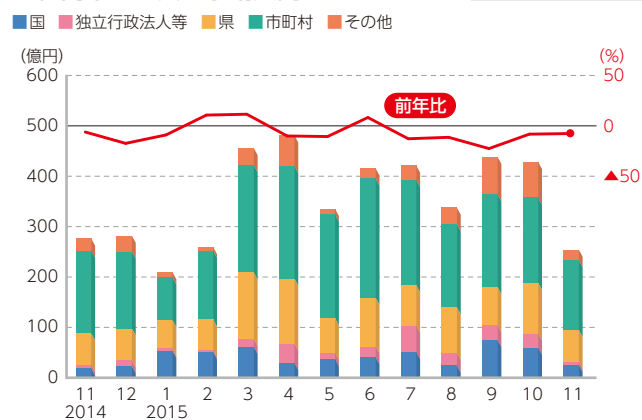
4.公共工事 | 5ヵ月連続で前年を下回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比2.2%減の877件、金額が同8.0%減の256億円となりました。

発注者別では、トンネル新設工事のあった「国」等が前年を上回りましたが、「独立行政法人等」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



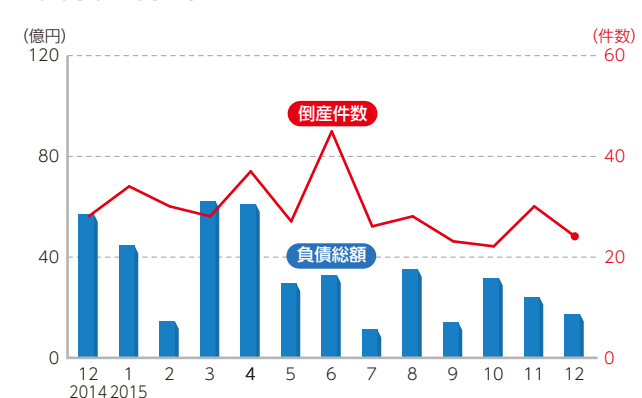
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比14.3%減の24件、負債総額は同69.4%減の約18億円となりました。

不動産業で5億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きに減速の兆しがみられる

熊本県の景気は、持ち直しの動きに減速の兆しがみられます。

生産は、電気機械や輸送機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられます。個人消費は、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回ったことから、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

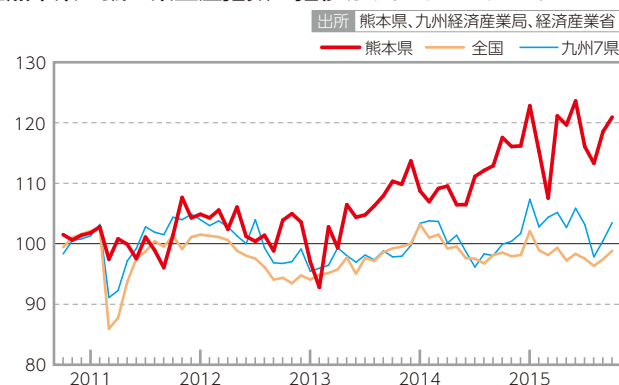
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は121.1と前月比2.0%上昇しました。

主要業種では、電気機械や輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

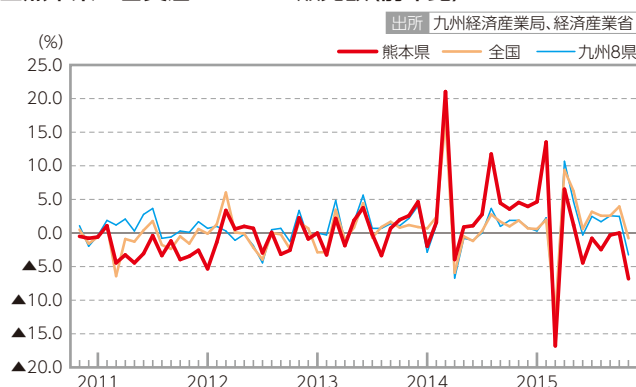


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

11月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比6.9%減の128億円となりました。

飲食料品は前年を上回ったものの、例年に比べて気温が高めに推移したことから冬物衣料の動きが鈍く、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



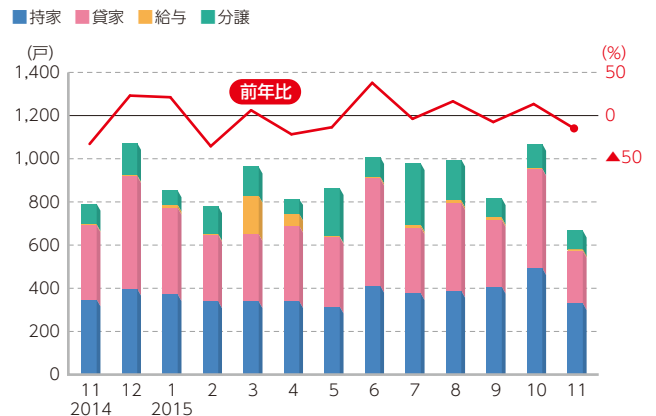
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比15.7%減の672戸となりました。

「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回ったことから、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



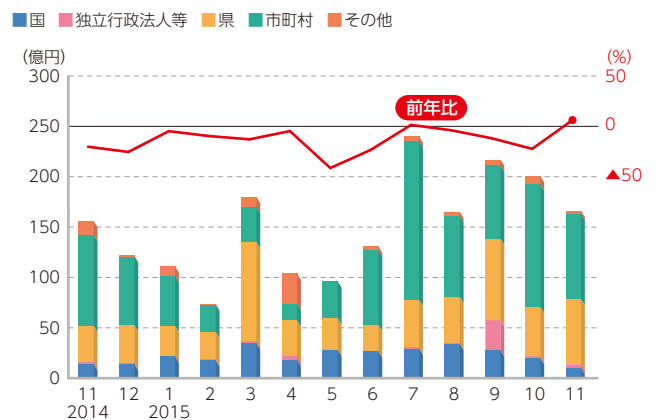
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.1%減の591件、金額が同6.4%増の167億円となりました。

発注者別では、九州自動車道の土木工事があった「独立行政法人等」と、道路災害復旧工事の大型案件があった「県」が前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



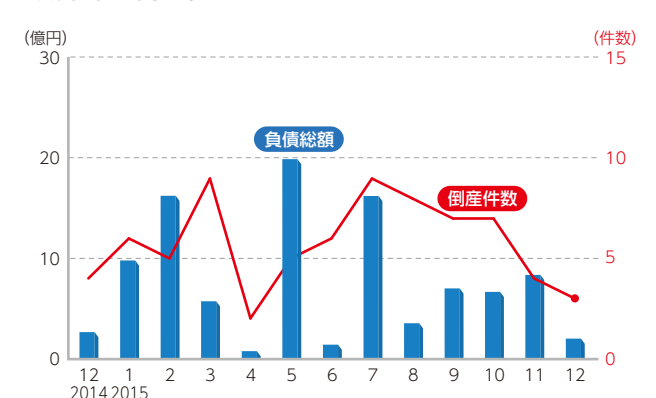
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の3件、負債総額は同24.2%減の約2億円となりました。

業務用食品等販売業で約2億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

長崎県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産は、ボイラーの生産が減少したはん用・生産用機械が低下する等、弱含んでいます。個人消費は、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

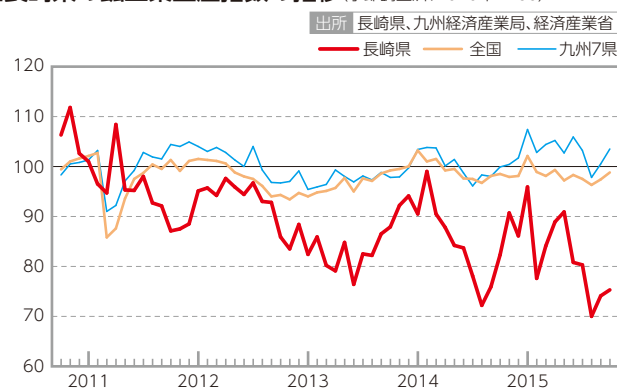
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含んでいる

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は75.3と前月比1.6%上昇しました。

主要業種では、交流発電機が増産となった電気機械は上昇したものの、ボイラーの生産が減少したはん用・生産用機械が低下する等、生産は弱含んでいます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

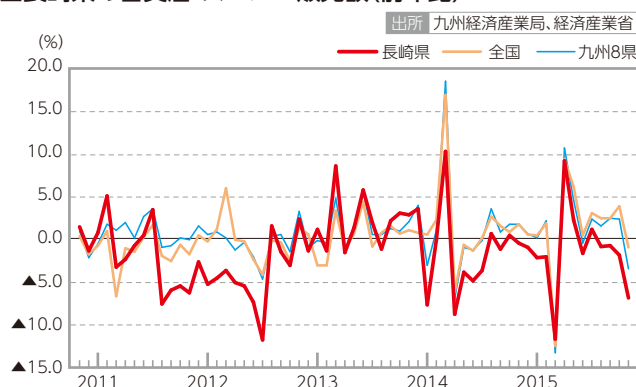


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

11月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比6.7%減の91億円となりました。

例年に比べて気温が高めに推移したことから冬物衣料の動きが鈍く、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





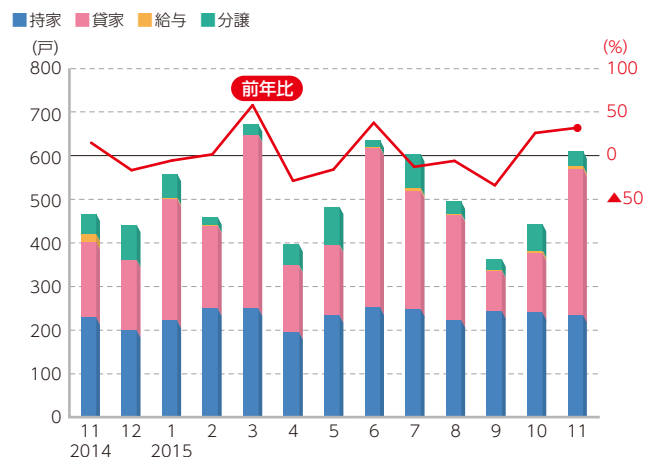
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比30.8%増の616戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



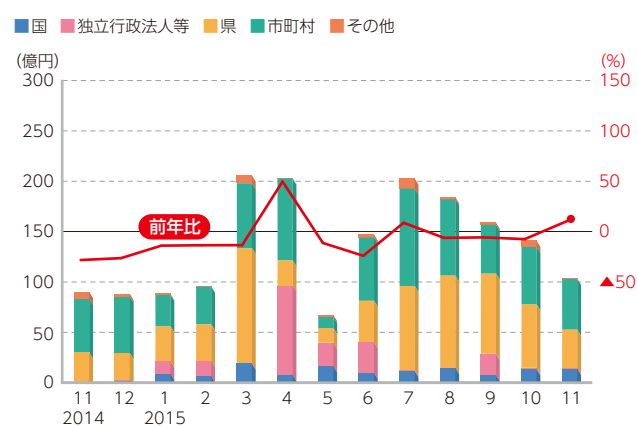
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.5%増の392件、金額が同14.5%増の105億円となりました。

発注者別では、庁舎新設工事や防災施設新設工事の発注があった「国」が前年を大きく上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



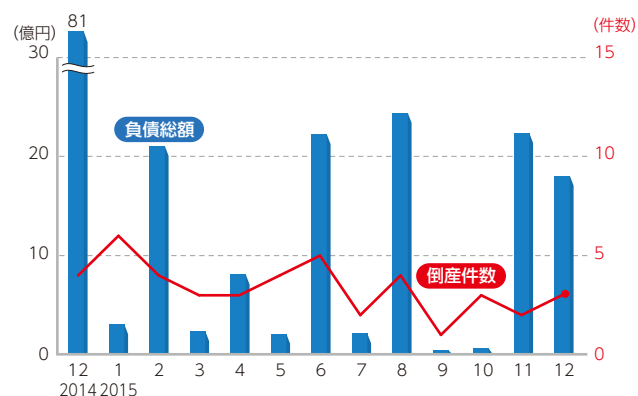
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の3件、負債総額は同78.0%減の約18億円となりました。

建設業で約16億円の大型倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

佐賀県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産は、金属工作機械の生産が減少した一般機械が低下する等、弱含みの兆しがみられます。個人消費は、飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも7ヵ月連続で前年を上回りました。

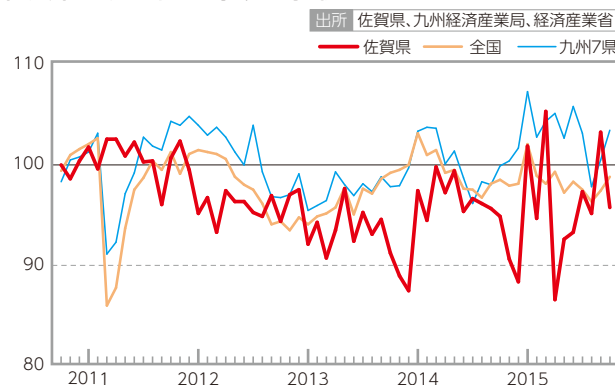
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.7と前月比7.4%低下しました。

主要業種では、飲料用缶が増産となった金属製品は上昇したものの、金属工作機械の生産が減少した一般機械が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

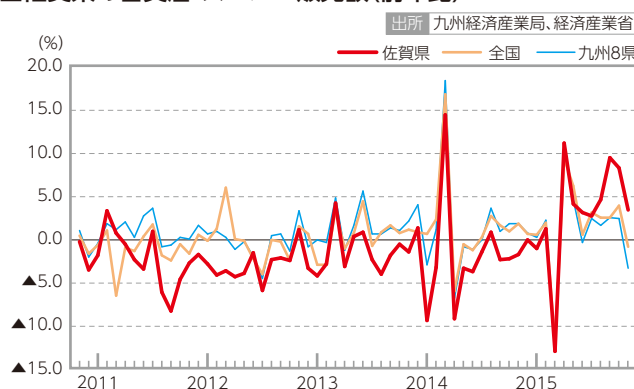


2.個人消費 | 底堅く推移している

11月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.5%増の54億円となりました。

例年に比べて気温が高めに推移したことから冬物衣料の動きが鈍く、主力の衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





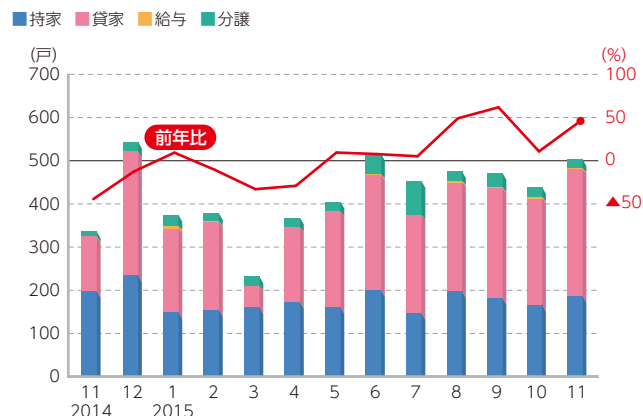
3.住宅建設 | 7ヵ月連続で前年を上回る

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比48.8%増の503戸となりました。

「持家」が前年を下回ったものの、「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも7ヵ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



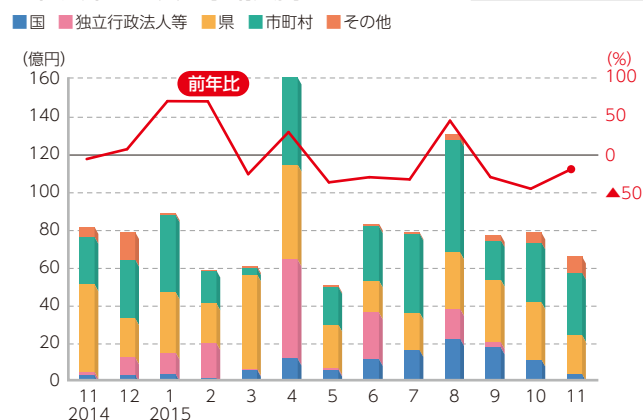
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比17.7%減の242件、金額が同19.3%減の66億円となりました。

発注者別では、防災システム整備工事のあった「市町村」等が前年を上回りましたが、「独立行政法人等」「県」が前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



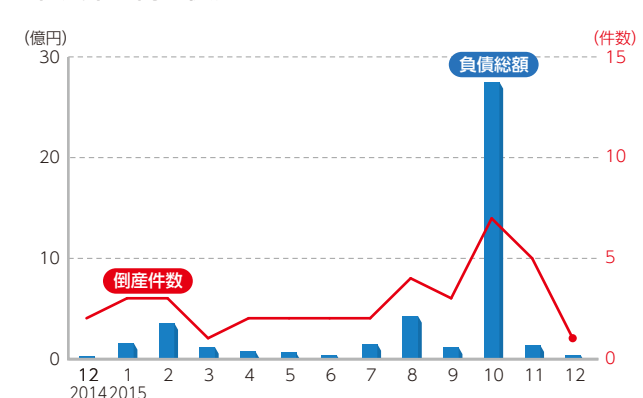
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の1件、負債総額は同33.3%増の4千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

大分県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産は、半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

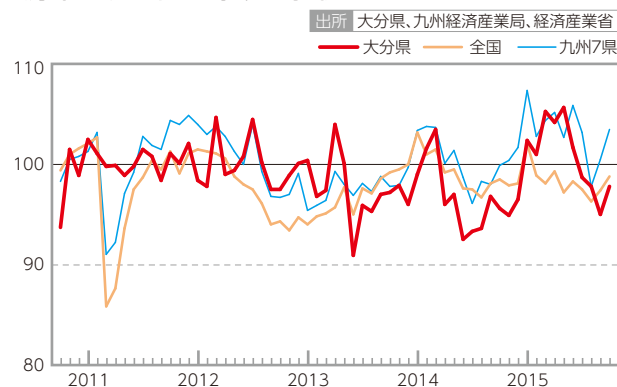
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.8と前月比2.9%上昇しました。

主要業種では、医療用機械器具の生産が減少したはん用・生産用・業務用機械は低下したものの、半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

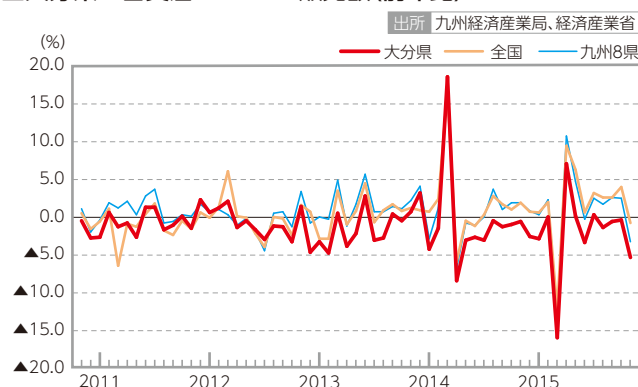


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

11月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比5.4%減の91億円となりました。

化粧品や宝飾品などの高額品は前年を上回ったものの、例年に比べて気温が高めに推移したことから冬物衣料の動きが鈍く、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





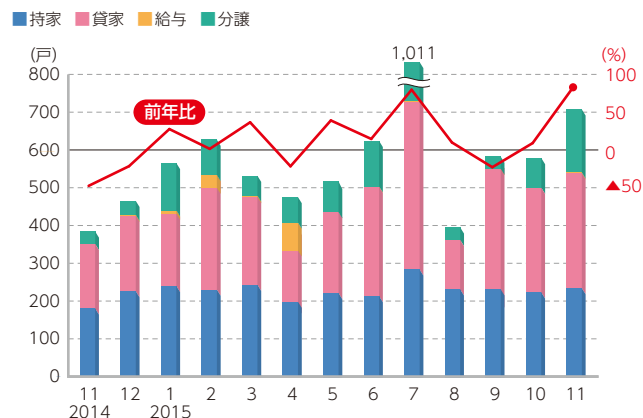
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比84.2%増の713戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



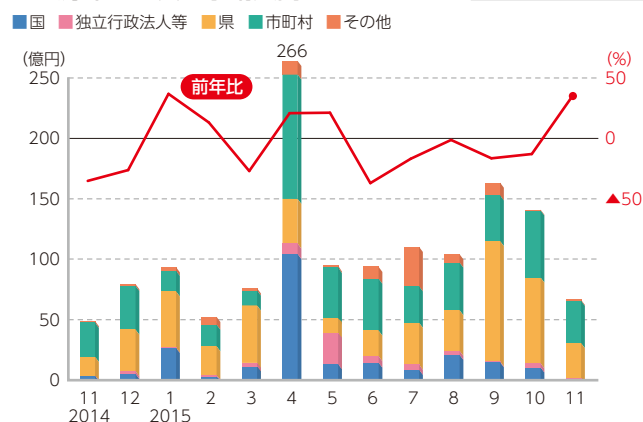
4.公共工事 | 6ヵ月ぶりに前年を上回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比6.0%増の281件、金額が同36.0%増の67億円となりました。

発注者別では、発電機保守工事等の発注があった「県」等が前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



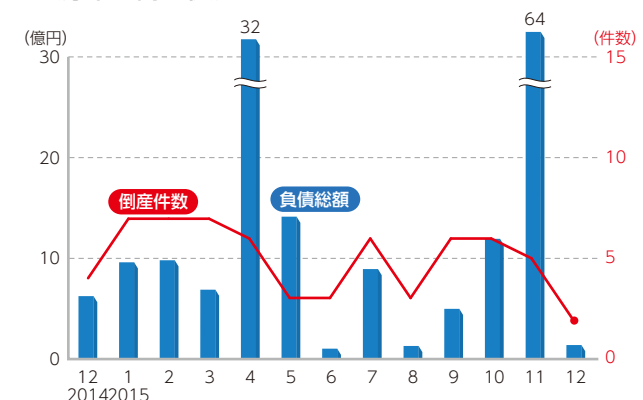
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の2件、負債総額は同77.7%減の約1億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

宮崎県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産は、電子部品・デバイスや食料品が低下する等、弱含みの兆しがみられます。個人消費は、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。住宅建設は、「貸家」「分譲」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

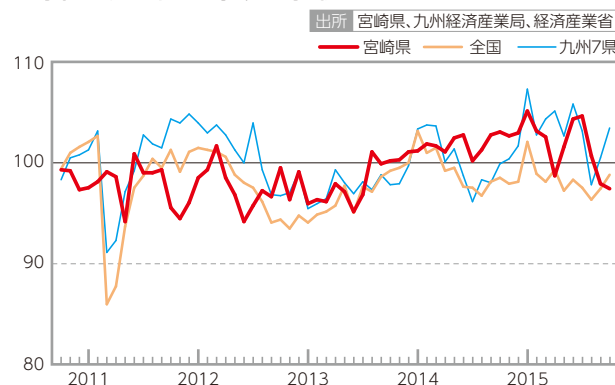
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.4と前月比0.5%低下しました。

主要業種では、はん用・生産用・業務用機械は上昇したものの、電子部品・デバイスや食料品が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

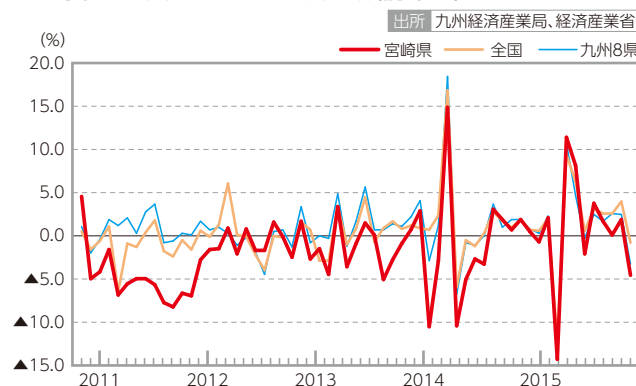


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

11月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.6%減の61億円となりました。

例年に比べて気温が高めに推移したことから冬物衣料の動きが鈍く、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



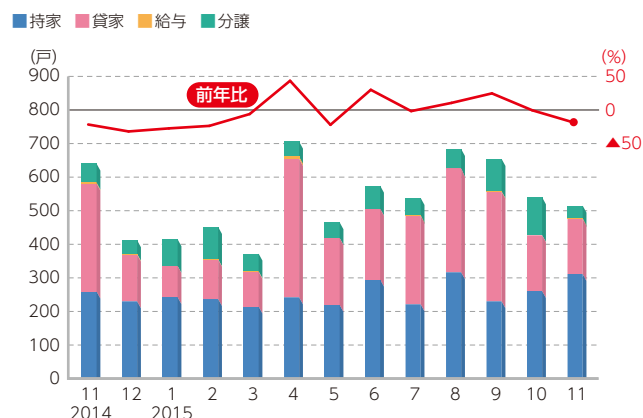
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比19.5%減の519戸となりました。

「持家」が前年を上回ったものの、「貸家」「分譲」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



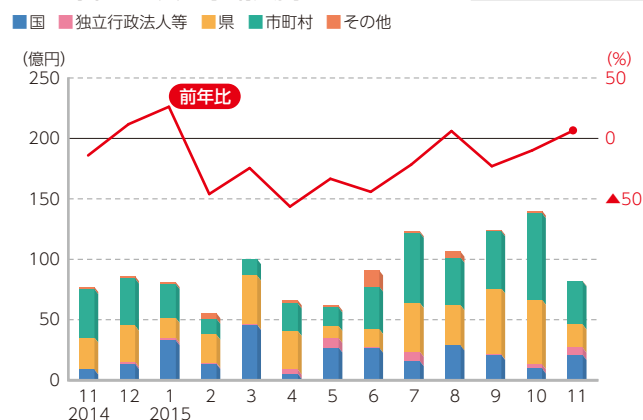
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比14.7%増の429件、金額が同6.5%増の83億円となりました。

発注者別では、トンネル新設工事の大型案件があった「国」と、大学空調設備工事のあった「独立行政法人等」が前年を大きく上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が5件、負債総額は約10億円となりました。

ビジネスホテル業で約6億円、パン製造販売業で2億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

鹿児島県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産は、焼酎が増産となった食料品が上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回ったことから、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

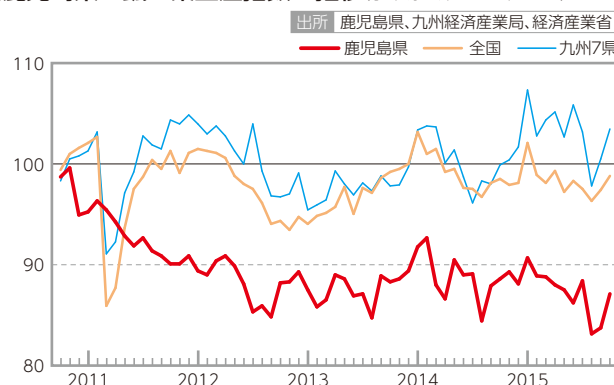
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は87.0と前月比4.1%上昇しました。

主要業種では、スマートフォン関連部品の生産が減少した電子部品・デバイスが低下したものの、焼酎が増産となった食料品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

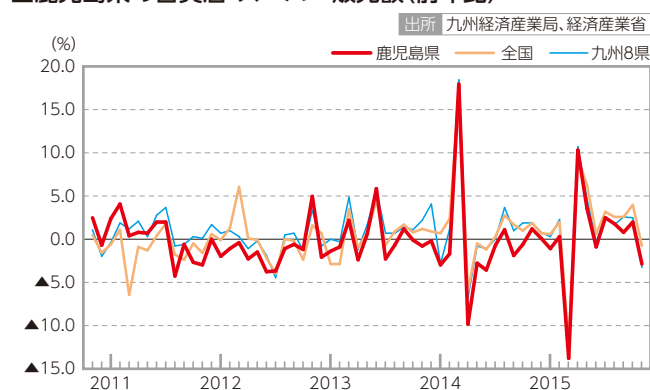


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

11月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.9%減の135億円となりました。

化粧品や宝飾品などの高額品は前年を上回ったものの、例年に比べて気温が高めに推移したことから冬物衣料の動きが鈍く、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





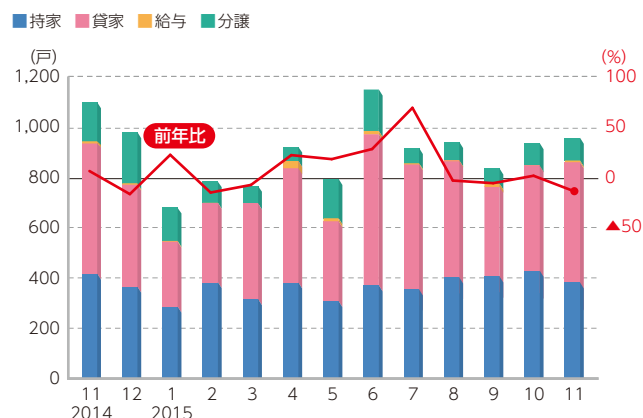
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比12.8%減の964戸となりました。

「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回ったことから、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



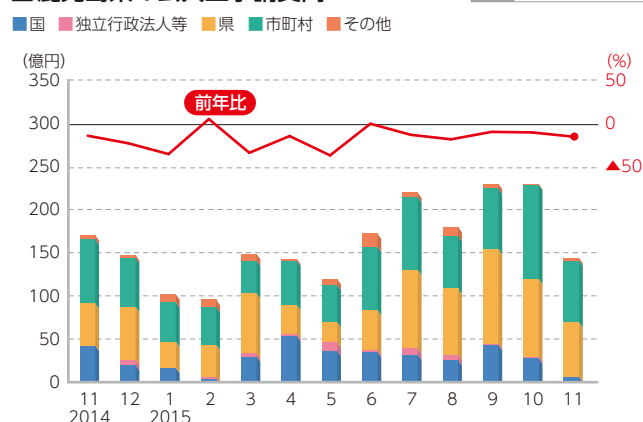
4.公共工事 | 5ヵ月連続で前年を下回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.0%増の673件、金額が同14.3%減の146億円となりました。

発注者別では、県営住宅建設工事のあった「県」が前年を上回りましたが、「国」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2倍の4件、負債総額は約12億円となりました。

イベント企画業で約6億円、港湾土木工事業で約5億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

